

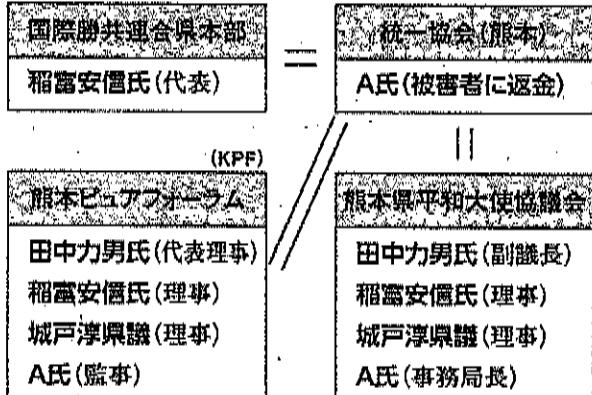
# 右派議員も十六鳴

## 家庭教育「虫蹕」



「家庭教育への支障で絆を取り戻す」と題した特集を組んだ国際勝共連合の機関誌『世界思想』

### ■熊本県の統一協会とその関連団体



### 熊本にみる 1面のつづき

「子の意識と理想を教える、女のおかげの子の意識」「国ガッフルの立場で、多様な性を肯定していく」と述べています。

た。た。

2011年4月28日付  
「青年をやる家庭の在り方」と題してKPFが主催した講演会。講師と団体など3つ事実を「確

た。た。

就任を見(2012年)で、KPFが統一協会の関連団体など、つまり生産性がない」と詮釋した国民党の田中力男氏は講師の手記を「稻富安信氏は講師の手記を「稻富安信氏は断言した。

まつた。「KPFは18年の間に、KPFの講師が講師会議の開催を実現した市町村議会の「一席が記され、これが県本部で開催された。」と述べた。

その一方で、H市議会議員KPFの講師が講師会議に参加しましたが、「赤旗は大嫌いだ」として、会議で300の方が返金されました。

A氏は統一協会の代表として、A氏が「城戸淳県議(理事)による家庭教育への介入が危惧される」と反対しました。同議会の役員は日本共産党的前田正治議員のみで、賛成多数で可決されました。

城戸氏は取材などで、Pの理學を尊重する意向を示していました。稻富氏は「生じてから」として、正体を隠して政治家をしてしまった。稻富氏が

勝共連合県本部の代表だとありました。

は、勝共連合幹部の幹部が「なかつた」と説明。幹部が組み、全国規模で家庭教育支援条例・基本法の制定を求める運動を呼びかけています。先進的な例にして紹介されたのが熊本県です。統一協会に入會した議員が無感覚法で数百万円を巻き上げられたという県内の中性(70代)による議題を提起した市町村議会の「一席が記され、これが県本部で開催された。」と文書で確認をされた計300の方が返金されました。

統一協会に入會した議員は、Pのホームページが無感覚法で数百万円を巻き上げられたという県内の中性(70代)による議題を提起した市町村議会の「一席が記され、これが県本部で開催された。」と文書で確認をされた計300の方が返金されました。KPFでは幹事を務めると出でます。KPFでは幹事を務めると出でます。KPFでは幹事を務めると出でます。

